

教 育 資 料

平成13年度第2号

# 自己をコントロールする力が育ち、 自己肯定感が実感できる学習の在り方

(第2集)

自己コントロール力と自己肯定感に関する子どもの現状  
アンケート調査の結果  
アンケート調査の考察

自己コントロール力が育ち、  
自己肯定感が実感できる学習の在り方

実践事例

小学校 国語科・図画工作科・生活単元学習

中学校 国語科・社会科

高等学校 国語科(国語)・理科(生物 B)

平成14年3月

京都府総合教育センター

## 刊 行 に 当 た っ て

21世紀の開幕から1年が経過し、国際化、情報化、少子・高齢化など社会の変化はますます激しく流動的な時代を迎えています。こうした大きな社会的変動の中で、教育も大きな転換期にあり、さまざまな教育改革が進められています。

京都府においては、21世紀を担う子どもたちが、豊かな心をはぐくみ、夢や希望をもって世界にはばたく人間として育つよう「京の子ども、夢・未来」プラン21が策定され、教育改革が進められているところです。学校では、完全学校週5日制の趣旨を踏まえた教育活動を充実するとともに、学習指導要領の趣旨に基づく授業改善が図られ、主体的に生きる心豊かな人間の形成を目指し、さまざまな取組が進められています。

しかし、教育改革を具体化するためには、教職員一人一人の厳しいプロ意識に基づく研修が必要であるとともに、各学校の組織的、計画的、継続的な校内研修と実践的研究が重要になってきます。

これらを踏まえ、京都府総合教育センターは、教育の転換期の研究事業として、昨年度から3箇年計画で「自己をコントロールする力が育ち、自己肯定感が実感できる学習の在り方」を研究主題として取り組んでいます。この研究は、平成10、11年度に行った「豊かな心を基盤とした生きる力をはぐくむ学校教育に関する研究」を土台に、物質的に豊かな時代の教育の課題を見据え、生きる力の育成を目指す教育の視点を「自己コントロール力」と「自己肯定感」からとらえ、学習場面において実践的に研究し、その成果を各学校に提供していくことをねらいにしています。

そのため、研究の2年次に当たる本年度は、各学校の御協力を得ながら、京都府の子どもたちの現状をアンケート調査からまとめ、その結果を分析し、各校種ごとに自己コントロール力と自己肯定感にかかわる重点課題を明らかにしました。さらに、この結果と昨年度の研究の成果を踏まえ、各校種ごとに実践研究を進め、その結果をまとめました。次年度は、アンケート調査結果や実践研究を基に、引き続き各学校の御協力を得ながら長期的な実践的研究に取り組み、その成果を平成14年度末に刊行する予定です。

最後になりましたが、この教育資料が、各学校の課題の解決のための情報となり、心の教育や授業改善を進める上での参考資料として活用されますことを願っています。

平成14年3月

京都府総合教育センター

所 長 今 野 芳 子

# 目 次

刊行に当たって

第 1 章	はじめに .....	1
1	研究主題	
2	主題設定の理由	
3	研究仮説	
4	研究の内容と年次計画	
第 2 章	自己コントロール力と自己肯定感に関する子どもの現状 .....	3
第 1 節	アンケート調査にみる子どもの現状 .....	3
1	調査の概要	
2	結果の概要	
3	調査結果にみる「自己コントロール」と「自己肯定感」	
第 2 節	アンケートの結果から考察する重点課題 .....	12
1	小学校における課題	
2	中学校における課題	
3	高等学校における課題	
第 3 章	自己コントロール力が育ち、自己肯定感が実感できる学習の在り方	
第 1 節	実践研究に当たって .....	32
第 2 節	小学校 .....	35
1	国語科	
2	図画工作科	
3	生活単元学習（障害児教育）	
第 3 節	中学校 .....	72
1	国語科	
2	社会科	
第 4 節	高等学校 .....	105
1	国語科（国語）	
2	理科（生物 B）	
第 5 節	今後の授業の方向性 .....	131
第 4 章	研究のまとめ .....	134